

ユーザーマニュアル

ドライブレコーダー DrivePro™ 550

(Version 1.1)



目次

1.	はじめに	2
2.	システム動作条件	3
3.	パッケージ内容	4
4.	使用前の準備	5
4-1	各部名称	5
4-2	microSD カードの取り付け	6
4-3	DrivePro の取り付け	7
4-4	電源への接続	9
4-5	機能ボタン	10
4-6	LED 表示	10
4-7	日時とタイムゾーンの設定	11
5.	録画	12
5-1	通常録画	12
5-2	緊急録画	12
5-3	パーキングモード	13
6.	録画再生とフォト表示	14
6-1	録画再生 / フォト表示	14
6-2	録画/フォトファイルの削除	15
6-3	録画ファイルの保護	15
7.	設定	16
8.	DrivePro App の使い方	21
8-1	アプリのダウンロードとインストール	21
8-2	DrivePro への接続	21
9.	DrivePro™ Toolbox ソフトウェア	22
10.	PC へのファイル転送	23
11.	安全のための使用上の注意	25
12.	トラブルシューティング	28
13.	仕様	29
14.	リサイクルと環境への配慮	30
15.	Federal Communications Commission (FCC) Statement	31
16.	保証規定	32
17.	GNU General Public License (GPL) Disclosure	33
18.	End-User License Agreement (EULA)	33

1. はじめに

トランセンドのドライブレコーダーDrivePro 550 をご購入いただき誠にありがとうございます。
このデバイスは2つのレンズを備えた車内設置レコーダーで、車両の内外で起きている事象をリアルタイムの録画及び写真で記録するように設計されています。フロントレンズは Sony 製のイメージセンサ、160°のワイドアングルレンズ、F 値 2.2 の大口径により鮮明な HD 1080P (30 FPS)録画を行います。リアレンズには赤外線 LED が備わっており、暗闇で自動的に点灯して夜間も録画品質を高めます。また、GPS/Glonass 受信機も組み込まれているので、記録データに位置座標を残します。他にも車線逸脱防止支援システム(LDWS)、前方衝突警報システム(FCWS)、ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラートやパーキングモードに加え、モバイル機器でライブビューを閲覧したり、録画データをダウンロードできる専用アプリの DrivePro App や PC で録画データを検索したり、スクリーンショットを作成できる DrivePro Toolbox を提供しています。

特色

- スムーズで鮮明なフル HD 1080P と HD 720P の録画(30fps の解像度)
- フロントレンズとリアレンズで車両の内外で起きた事象を記録
- 赤外線 LED により夜間や暗所でもクリアな録画が可能なリアレンズ
- GPS/Glonass 受信機搭載で位置情報を取得
- Wi-Fi 機能によりモバイル機器でライブストリーミングや DrivePro の設定変更が可能
- 2.4 インチカラー液晶スクリーン
- 160°ワイドアングルレンズ
- トランセンドの microSD カード付属
- デュアルレンズカメラで録画中にリアルタイムのイメージをキャプチャ
- Hi-Speed USB 2.0 接続でコンピュータに簡単接続&ファイル転送
- .MP4 ファイルフォーマット、15Mbps のビットレートで録画
- 内蔵マイクとスピーカー
- リチウムポリマーバッテリー
- 安全運転支援機能: 車線逸脱防止支援システム(LDWS)、前方衝突警報システム(FCWS)、ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラート

2. システム動作条件

DrivePro をコンピュータに接続するために必要な環境です。

使用可能な USB ポートが搭載されているデスクトップかノート PC

- Windows[®] 7
- Windows[®] 8
- Windows[®] 8.1
- Windows[®] 10
- Mac[®] OS X 10.8.2 以降
- Linux[®] Kernel 2.6.38 以降

DrivePro Toolbox を利用するのに必要な環境です。

- Windows[®] 7
- Windows[®] 8
- Windows[®] 8.1
- Windows[®] 10
- Mac[®] OS 10.11 以降

3. パッケージ内容

DrivePro のパッケージには以下が同梱されています。

- DrivePro ドライブレコーダー



- 取付けブラケット(粘着シールまたは吸盤タイプ)



- カーアダプタ



- microSD カード

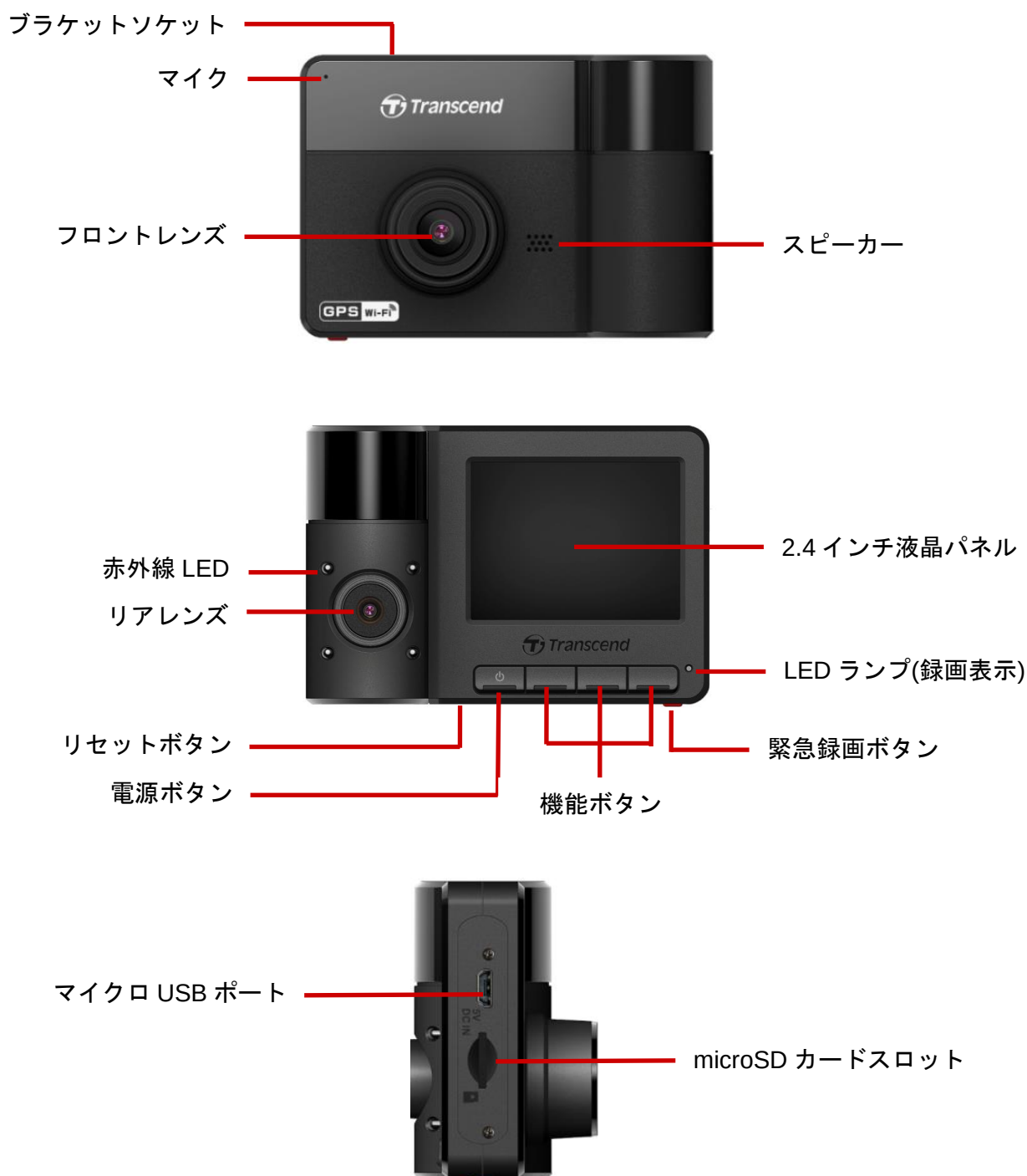


- Quick Start Guide (クイックスタートガイド)



4. 使用前の準備

4-1 各部名称



4-2 microSD カードの取り付け

録画をする前には microSD カードを DrivePro に挿入してください。スピードクラス 10 以上で 8GB~128GB の microSD カードをご使用ください。(MLC NAND フラッシュ推奨)

1. microSD カードは DrivePro の側面のカードスロットに正しく差し込んでください。



注記: DrivePro で新しい microSD カードを使用する場合はフォーマットを行ってください。録画中に設定ボタンを押し、**Format Card (カードフォーマット)**を選択してフォーマットします。

安定した録画を行うために、**microSD カードは定期的にフォーマットしてください。**

DrivePro は 3 ヶ月に一度ユーザーにフォーマットを促すメッセージを表示します。OK を押すとフォーマットを開始し、 を押すとフォーマットをしないで録画を再開します。

注記: フォーマットを行うと microSD カードに保存されている全てのデータは消去されます。

注意:



1. DrivePro 550 が対応しているファイルシステムは FAT32 と exFAT フォーマットです。NTFS には対応していません。
2. microSD カードのアロケーションユニットサイズが 32KB 以上に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は録画を行う前に DrivePro が microSD カードのフォーマットを要求します。

- メモリカード容量と録画品質に基づく録画可能時間(目安)は下表の通りです。

DrivePro	フレームレート	容量(FAT32)			
		16GB	32GB	64GB	128GB
DrivePro 110	Full HD 1080P 30fps	3 時間	6 時間 30 分	13 時間 30 分	27 時間 30 分
	HD 720P 30fps	4 時間	9 時間 30 分	19 時間 30 分	40 時間
DrivePro 230	Full HD 1080P 30fps	2 時間	4 時間	8 時間	16 時間
	HD 720P 30fps	3 時間 30 分	7 時間 30 分	15 時間	30 時間
DrivePro 550	Full HD 1080P + 720P 30fps	1 時間 30 分	3 時間 30 分	7 時間 30 分	16 時間
	HD 720P 30fps + 720P 30fps	2 時間	4 時間	9 時間	19 時間

2. カードを押すとカードスロットから排出され、取り出すことができます。



注意: 録画データの損傷や消失を防ぐために、シャットダウン中に microSD カードを取り出さないでください。

4-3 DrivePro の取り付け

1. 取り付けブラケットを DrivePro 上部に差し込みカチッと音がするまでスライドさせて固定します。



2. DrivePro を取り付ける位置を決めてフロントガラスを清掃します。撮影範囲の広い映像を録画するためにバックミラー周辺に DrivePro を取り付けることをお勧めします。
3. 取付けブラケットの ステッカーから保護フィルムを外して DrivePro をフロントガラスに取り付けて固定します。



4. 調節ノブを反時計回りに回すと緩みますので DrivePro の位置を調整してください。



5. DrivePro の位置が決まったら、調節ノブを時計回りに回して固定します。その場所に DrivePro がしっかりと安全に固定されていることをご確認ください。



4-4 電源への接続

注記: DrivePro をシガーソケットに接続する前に microSD カードをメモ리카ードスロットに挿入してください。



1. カーアダプタのマイクロ USB 端子を DrivePro の USB ポートに接続します。
2. カーアダプタのもう一方の端子の出力プラグを車のシガーソケットに接続します。
3. 車のエンジンをかけると、DrivePro は自動的に起動して録画を開始します。

注記: 初めて使用する時は日時とタイムゾーンの設定を行ってください。

録画時の画面表示

- (1) 録画状態
- (2) ビデオ解像度
- (3) Wi-Fi 接続状態
- (4) GPS 状態
- (5) ボイス録音状態
- (6) バッテリー状態
- (7) 日時



4-5 機能ボタン



モード	A	B	C	D
録画	電源/Wi-Fi*	ファイル一覧	設定	スナップショット
ブラウズ/設定	戻る	上	下	OK OK
ビデオ再生	戻る	再生/一時停止	保護/保護解除	削除
フォト閲覧	戻る*	上	下	削除

- を長押しすると、どのモード時にでも DrivePro を電源オン/オフできます。
- を長押しすると、マイクのオン/オフを切り換えできます。
- を長押しすると、タイムラプス動画メニューに移動できます。
- Wi-Fi 接続は DrivePro が電源に接続されている場合のみ利用できます。

4-6 LED 表示

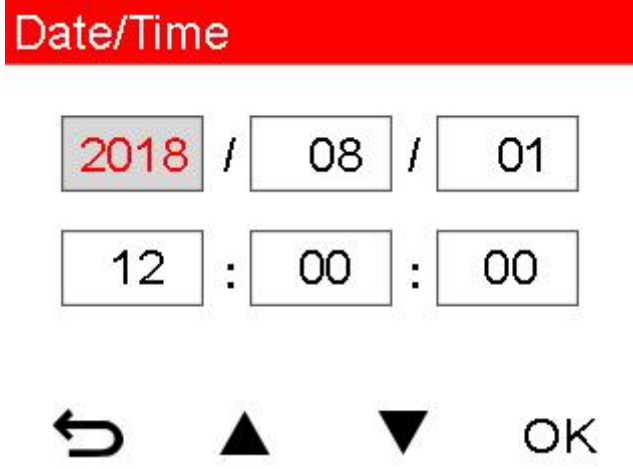
LED	Wi-Fi	状態	内容
	オン	点滅	録画中(Wi-Fi 接続)
		点灯	スタンバイ(Wi-Fi 接続)
	オフ	点滅	録画中(Wi-Fi 非接続) パーキングモードで録画中
		点灯	スタンバイ(Wi-Fi 非接続) パーキングモードでスタンバイ

注記: Wi-Fi 接続は DrivePro が電源に接続されている場合のみ利用できます。

4-7 日時とタイムゾーンの設定

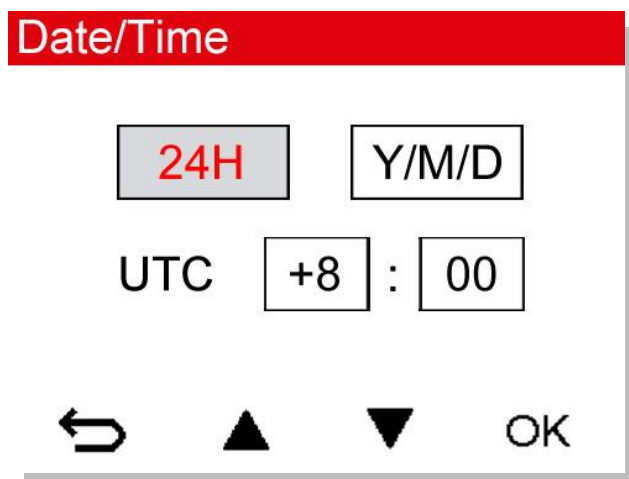
日付と時間の設定

1. 録画中に  を押します。
2.  /  を操作して **Date/Time** を選択し、 を押します。



The screen displays the 'Date/Time' menu. It features two rows of input fields. The first row contains '2018', '/', '08', '/', and '01'. The second row contains '12', ':', '00', ':', and '00'. Below these fields are four buttons: a left arrow, an up arrow, a down arrow, and an 'OK' button.

3.  /  を操作して値を調節し、 を押すと次の値の入力欄に移動します。
4. 手順 3 を繰り返して日時とタイムゾーンを設定し、 を押します。
日本の場合、タイムゾーンは“+9 : 00”と設定します。



The screen displays the 'Date/Time' menu for time zone selection. It features two rows of input fields. The first row contains '24H' and 'Y/M/D'. The second row contains 'UTC', '+8', ':', and '00'. Below these fields are four buttons: a left arrow, an up arrow, a down arrow, and an 'OK' button.

5. 録画

5-1 通常録画

車のエンジンをかけると、DrivePro は自動的に起動して録画を開始します。

デフォルトでは 3 分毎に録画ファイルを保存します。録画の長さを調整するには本マニュアルの設定の項を参照ください。



エンジンを止めると DrivePro は自動的に録画を停止して電源をオフにします。

注記: 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。

5-2 緊急録画

メモリ容量の 30%が緊急録画ファイルの保存用に確保されています。緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされないように保護されます。

手動緊急録画: 録画中に DrivePro 底面部の緊急ボタンを押すと、手動で緊急録画モードに切り換えることができます。



緊急録画を開始すると下図のように画面にメッセージが表示されます。



G センサー緊急録画: 録画中に DrivePro が衝撃を感知すると自動的に緊急録画モードに切り換わります。

- G センサーの感度を“高”に設定すると、わずかな衝撃も感知して緊急録画モード状態になります。
- G センサーの感度を“低”に設定すると、大きな衝撃のみ感知して緊急録画モード状態になります。

設定メニューで G センサーの感度調節や有効/無効設定を行います。

注記: 30%のストレージ領域が緊急録画ファイルでいっぱいになると、一番新しいファイルは最も古い緊急録画ファイルを上書きして保存されます。

5-3 パーキングモード

車のエンジンをオフにした後、DrivePro は自動的にパーキングモードに切り換わり、動作や衝撃を検出すると録画を行います。この機能はデフォルトでは無効になっており、設定メニュー  で有効にすることができます。

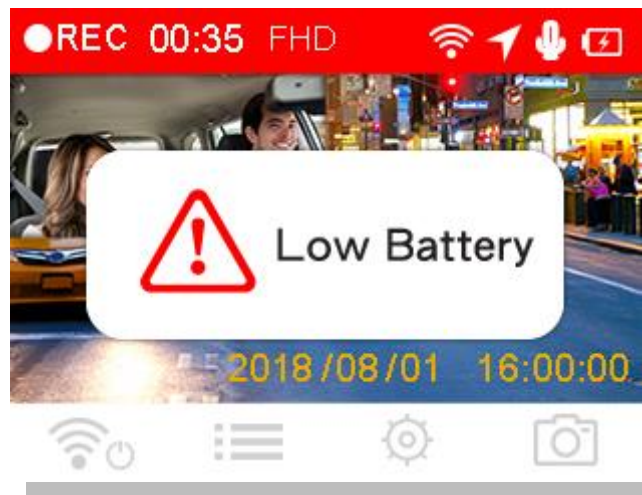
注記: パーキングモードでは DrivePro は内蔵バッテリーで動作します。

パーキングモードのスタンバイ中、液晶画面はオフ状態で LED ランプは点灯(レッド)します。DrivePro が動作や衝撃を感知すると、液晶画面はオン状態になり、LED ランプは点滅(レッド)して 15 秒間の録画を行います。その間に新たな動作や衝撃を感知しなければ、DrivePro はスタンバイ状態に戻ります。また、車のエンジンをオンにすると、DrivePro は通常録画を開始します。

トランセンドのカーアダプタは車のエンジンが停止すると電源供給ができません。長時間パーキングモードを利用する場合は外付けバッテリーなどを利用してください。尚、録画中に  を長押しすることにより手動でパーキングモードに切り換えることができ、もう一度  を長押しすると DrivePro をオフにできます。

バッテリー残量少

日時設定に問題が発生しないように、“Low Battery (バッテリー残量少)”のメッセージが表示されたら、すぐに DrivePro のバッテリー充電を行ってください。また、充電せずに DrivePro を内蔵バッテリーのみで起動させないでください。



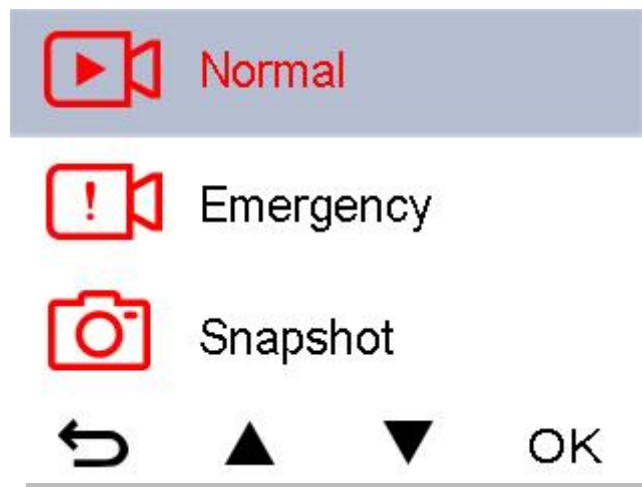
注記:

1. 内蔵バッテリーで録画を行う場合は十分な電源供給ができるようにしてください。
2. バッテリー残量少から満充電になるには AC/DC アダプタ(出力: DC 4.6~5.25V 2A)で少なくとも 4.5 時間の充電時間がかかります。

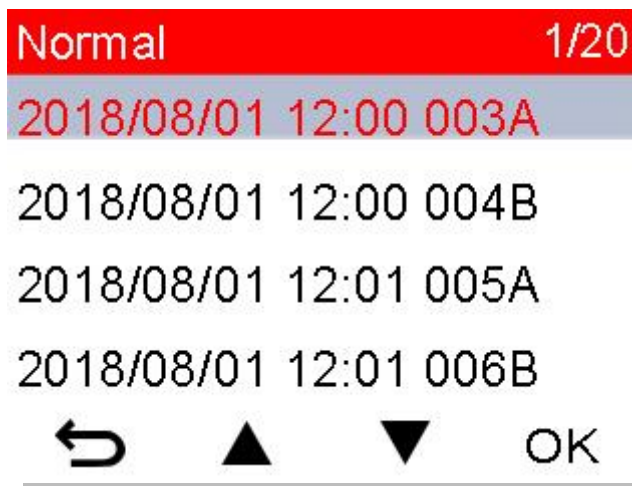
6. 録画再生とフォト表示

6-1 録画再生 / フォト表示

1. 録画中に を押します。
2. / を操作して再生/表示するファイルの種類を選択し、 を押します。



3. / を操作して再生/表示させるファイルを選択し、 を押します。



4.  を押すとファイル一覧に戻ります。

6-2 録画/フォトファイルの削除

1.  を押すと録画/フォトファイルを削除します。



2. “Delete? (削除しますか)”のメッセージが表示されるので、 /  を操作して削除/削除のキャンセルを選択し、 を押します。



6-3 録画ファイルの保護

1.  を押して録画ファイルを保護します。



2. “Lock? (ロックしますか)”のメッセージが表示されるので、 ▲ / ▼ を操作してロック / ロックのキャンセルを選択し、 OK を押します。



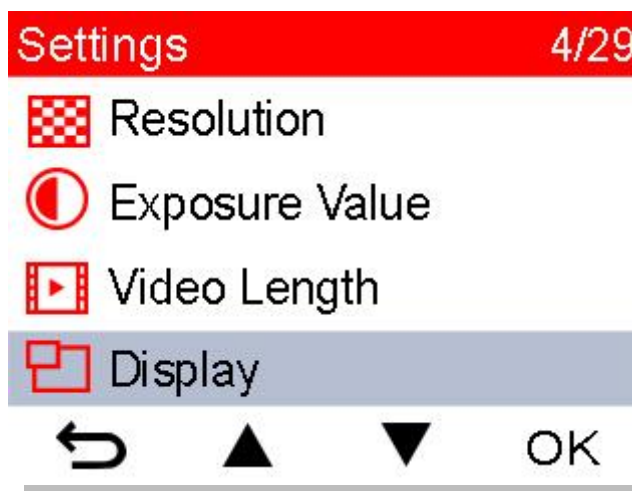
7. 設定

設定メニューでは録画解像度、録画時間、G センサーの感度を調節できます。また、日時設定、表示言語の変更、メモ리카ードのフォーマット、ファームウェアの更新も行えます。

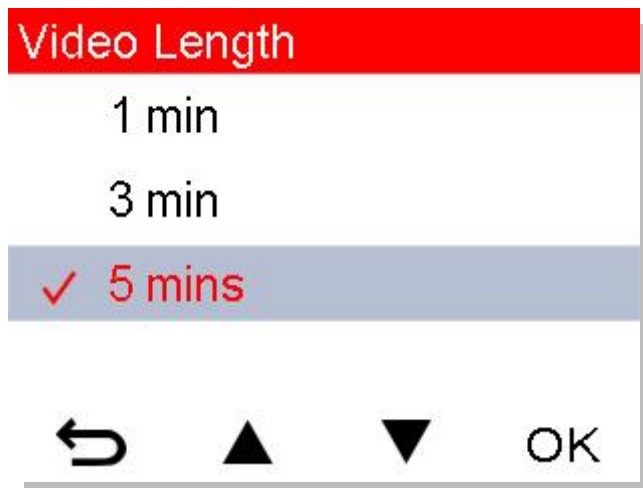
1. ⚙ を押します。



2. ▲ / ▼ を操作して設定を行う項目を選び、OK を押します。



3. ▲ / ▼ を操作して設定内容を選択し、OK を押します。



4.  を押すと設定メニューに戻ります。

メニュー項目



解像度: 動画の解像度/画質設定(フロントレンズ+リアレンズ)

オプション: 1080P+720P (デフォルト) / 720P+720P



露光指数: プレビュー画面の明るさ/暗さの露出補正値を調節

オプション: +2.0 ~ -2.0



録画の長さ: 録画ファイルの録画時間を設定

オプション: 1分 / 3分(デフォルト) / 5分



ディスプレイ: 両レンズ表示、フロントレンズ/リアレンズのみ表示

オプション: フロント / リア / 両方(デフォルト)



ヘッドアップリマインダー: 液晶画面に走行速度とアラートアイコンを表示

オプション: 無効(デフォルト) / 有効



ビデオスタンプ: 録画中の動画のイベントや GPS 情報の現行時間を表示

オプション: 無効 / 有効



ループ録画: microSD カードの空き容量が無くなると古いファイルを削除して新しいファイルを作成

オプション: 無効 / 有効(デフォルト)



マイク: 録画中のマイクのオン/オフ

オプション: 無効 / 有効



音量: スピーカーの音量調節

オプション: 0 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (0 を選択すると消音モードに切換)



LED 信号機設定: 信号の点滅を軽減するための適度な周波数を設定

オプション: 50Hz / 60Hz (東日本は 50Hz、西日本は 60Hz に設定します。)



タイムラプス動画: タイムラプス動画の時間間隔を設定

この設定は手動でのみ有効にすることができ、通常録画モードから切り換わります。

オプション: 無効(デフォルト) / 1秒/ショット / 2秒/ショット / 4秒/ショット

注記: 車のバッテリーを使い果たしてしまわないように、DrivePro はタイムラプスモードで連続 48 時間録画した場合、自動的に電源オフとなります。



G センサー: G センサーの感度を調節

オプション: 無効 / 低(デフォルト) / 中 / 高



速度単位: 速度の単位を設定(時速)

オプション: キロメートル[km/h] (デフォルト) / マイル[mph]



車線逸脱防止: 走行速度が設定値を超えたときの車線逸脱防止支援システムによるアラームを設定 (Wi-Fi 機能と排他利用です。)

オプション: 無効(デフォルト) / 60kmh ~ 150kmh



前方衝突警報: 走行速度が設定値を超えたときの前方衝突警報システムによるアラームを設定 (Wi-Fi 機能と排他利用です。)

オプション: 無効(デフォルト) / 60kmh ~ 150kmh



速度警報: 走行速度が設定値を超えたときのアラームを設定

オプション: 無効(デフォルト) / 60kmh / ... / 150kmh



パーキングモード: エンジン을切った後も動作感知で録画を継続するかを設定
(このモードは DrivePro のバッテリーを消耗します)

オプション: 有効 / 無効(デフォルト)



電源オフ: 電源をオフにするタイミングを設定

オプション: 無効 / 10 秒(デフォルト) / 30 秒

本体画面の消灯: 録画開始後に画面表示を自動消灯する時間を設定

オプション: 無効(デフォルト) / 1 分後 / 3 分後



注記: 速度警報、車線逸脱防止、前方衝突警報、ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラートが有効になっている場合、この設定は無効になります。

注記: 速度警報、車線逸脱防止、前方衝突警報、ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラート、ヘッドアップリマインダーが有効になっている場合、この設定は無効になります。



GPS ステータス: 受信 GPS 衛星数と GPS 信号の強さを表示



ナビゲーション: ナビゲーションシステムの選択

オプション: GPS (デフォルト) / GLONASS



ヘッドライト・リマインダー: DriveProが低光量を感知した場合に表示するメッセージの設定

オプション: 無効(デフォルト) / 有効



長時間運転アラート: ドライバーに休憩を促すメッセージを表示させる時間を設定

オプション: 無効(デフォルト) / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間



日時設定: 日時やタイムゾーンを設定

言語: 画面に表示される言語を設定



オプション: English / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / Deutsch / Español / Ελληνικά / Français

/ Italiano / Россия / Português / Türkçe / 한국어 / ไทย



カードフォーマット: microSDカードのフォーマット

オプション: いいえ / はい



注意: フォーマットを実行するとカード内のすべてのデータは削除されます。



ファームウェア更新: ファームウェアを最新バージョンに更新

ファームウェアの更新方法

詳細はダウンロードしたフォルダ内の“ファームウェアアップデート手順”を参照ください。

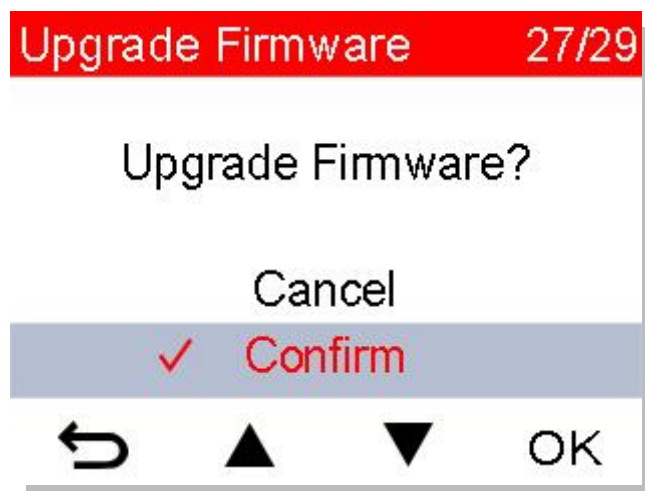
1. トランセンドのウェブサイトからファームウェアをダウンロード後、解凍してから microSD カードの“SYSTEM”フォルダに保存します。

<http://jp.transcend-info.com/support/service>

名称	修改日期
 N-VIDEO	2013/11/18 下午 01...
 P-VIDEO	2013/11/18 下午 01...
 SYSTEM	2013/11/18 下午 01...

2. 最新バージョンのファームウェアを保存した microSD カードを DrivePro に挿入します。
3. 設定項目から Firmware Upgrade (ファームウェア更新)を選び、 **OK** を押すと DrivePro がファームウェアのデータにアクセスし、自動的にファームウェア更新を行います。

注記: ファームウェアの更新には 1~2 分かかります。更新中は DrivePro の電源をオフしないようにしてください。更新が完了すると、DrivePro は自動で再起動します。



注意: ファームウェアのアップデート中は電源供給を妨げたり、microSD カードを取り外したりしないでください。

ファームウェアのアップデートに失敗して DrivePro が起動しなくなった場合はトランセンズの販売代理店またはカスタマーサポートまでお問い合わせください。



設定の初期化: 全ての設定を製品出荷時と同じ状態にリセット
オプション: いいえ / はい



DriveProのファームウェアバージョン、カード容量、空き容量を表示

8. DrivePro App の使い方

iOS/Android 機器から DrivePro にアクセスして録画中の映像をライブビューで見たり、DrivePro の機能を管理したり、録画ファイルをダウンロードして再生することが可能です。

8-1 アプリのダウンロードとインストール

1. App Store または Google Play で“DrivePro ”を検索します。



2. DrivePro App をダウンロードし、インストールします。

インストールが完了すると、iOS/Android 機器のホーム画面にアプリのアイコンが表示されます。アプリを使用するには DrivePro のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。

8-2 DrivePro への接続

1. 録画中に  を押し、Wi-Fi 機能を有効にします。

注記: Wi-Fi 接続は DrivePro が電源に接続されている場合のみ利用できます。



2.  が表示されたら、iOS/Android 機器から DrivePro 550 に接続可能です。
3. Wi-Fi 機能を有効にした後、数秒待つと iOS/Android 機器に DrivePro のワイヤレスネットワークが表示されます。
4. iOS/Android 機器の設定メニューを開き、Wi-Fi 設定を選択します。
5. DrivePro 550 のワイヤレスネットワークを選択して接続します。(デフォルトの Wi-Fi セキュリティキー: 12345678)



6. iOS/Android 機器のホーム画面に戻り、DrivePro App アイコンをタップするとアプリが起動します。



7. iOS/Android 機器が DrivePro にアクセスしている場合、DrivePro の液晶表示は上図のようになります。

注記: SSID と Wi-Fi セキュリティキーは DrivePro App の設定メニューで変更できます。

9. DrivePro™ Toolbox ソフトウェア

DrivePro Toolbox は Windows/Mac 用のソフトウェアで、コーデックのインストール不要で DrivePro で記録した録画ファイルを再生でき、走行経路が確認できます。

走行経路の確認にはインターネット接続が必要です。

1. インストールファイルをダウンロードします。
<http://jp.transcend-info.com/downloads>
2. DrivePro Toolboxソフトウェアをコンピュータにインストールします。

ソフトウェアには以下の機能が含まれています。

1. 動画のソート
ファイル名、録画日、グループでファイルをソートします。
2. スムーズな動画再生
DrivePro もしくは microSD カードスロット対応のカードリーダーやアダプタを利用して PC に接続し、録画ファイルを再生します。
3. 走行経路の表示
地図上に走行経路が表示されます。(この機能は GPS 受信機が搭載されている DrivePro のみ利用可能)

10. PC へのファイル転送

以下の方法で DrivePro の microSD カードと PC 間でデータ転送が行えます。

方法 1: microSD カードを DrivePro から取り出し、カードリーダーを使用してデータを PC に転送します。

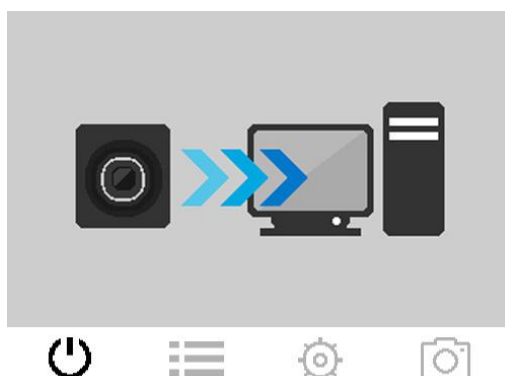
方法 2:

1. microSD カードを DrivePro に挿入します。
2. USB ケーブル(別売り)のマイクロ USB 端子を DrivePro のマイクロ USB ポート(本体右側面部)に接続します。
3. USB ケーブルの USB 端子を PC の利用可能な USB ポートに接続します。



DrivePro のパッケージに PC 接続用の USB ケーブルは付属されていません。

DrivePro の画面はコンピュータに接続すると下図のようになります。



■ Windows® 7 / 8 / 8.1 / 10

DrivePro をコンピュータに接続する際にドライバのインストールは不要です。Windows® OS は DrivePro に対応したドライバを持っています。正しく接続されると、DrivePro はマイコンピュータにリムーバブルディスクとして認識され、ドライブ番号が割り当てられます。また、ハードウェアアイコン  がシステムトレイに表示されます。

Name	Type	Total Size	Free Space
Hard Disk Drives (2)			
Local Disk (C:)	Local Disk	976 GB	237 GB
Local Disk (D:)	Local Disk	886 GB	3.19 GB
Devices with Removable Storage (1)			
Removable Disk (E:)	Removable Disk		

*マイコンピュータ(例: Removable Disk [E:]) --- ドライブ番号はコンピュータによって異なります。

DrivePro を PC に接続すると、外付けハードドライブのようにデータ転送を行うことができます。

録画ファイルを転送するには DrivePro のフォルダからファイルをドラッグ&ドロップしてください。

DrivePro の正しい取り外し方(Windows の場合)

1. システムトレイのハードウェアアイコン  をクリックします。
2. “Safely remove Hardware (ハードウェアの安全な取り外し)”というポップアップウィンドウが表示されます。クリックして続けます。
3. “The ‘USB Mass Storage Device’ device can now be safely removed from the system. (デバイスは安全にシステムから外すことができます)”というメッセージボックスが表示されたら、DrivePro を USB ポートから取り外します。



■ Mac[®] OS X 10.8.2 以降

DrivePro を PC に接続する際にドライバのインストールは不要です。PC の利用可能な USB ポートに接続すると、自動的に認識されます。



DrivePro の正しい取り外し方(Mac OS の場合)

DrivePro のディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れ、USB ポートから取り外します。

注意:



1. データの消失や破損を防ぐために DrivePro は正しい方法で PC から取り外してください。
2. DrivePro が PC に接続されている間はファイルの転送しかできず、DrivePro の機能を使用することはできません。通常の機能を使用する場合は PC から取り外してください。
3. DrivePro が PC に接続されているときは、PC から要求された場合でもフォーマットやディスクの初期化を行わないでください。

11. 安全のための使用上の注意

以下の安全のための使用ガイドラインは**重要です**！ 記述に従って使用者の安全を確保し、DrivePro 自体の損害を受けぬように正しくご使用ください。

■ 通常の使用

- 車両にのみ使用してください。
- 走行中、運転者は DrivePro や DrivePro App の操作や画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 走行中に緊急録画ボタンを押すなどの操作をしないでください。
- DrivePro は連続で映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- DrivePro は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- DrivePro の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害について弊社は一切責任を負いません。
- DrivePro によって録画した映像は使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- DrivePro の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対にしないでください。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。その場合、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。
- DrivePro を非常に高温または低温な環境下で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所、暖房機器の近く、湿度やほこりの多いところに保管しないようにしてください。
- 水や他の液体が DrivePro にかからないようにしてください。
- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。故障や発熱の原因となりますので、そのまま使用し続けしないでください。
- カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布で軽く拭いてください。
- 塗装面を傷めるため、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- DrivePro は精密機械ですので、静電気や電氣的ノイズ等によりデータ破損/消失が発生することがあります。その場合は作動しません。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 感電や故障の原因となりますので本体及び同梱品を分解等しないでください。
- 強い磁場や振動がある場所で DrivePro を使用しないでください。
- 別のカーアダプタを使用した場合、動作の保証ができませんので必ず付属の専用カーアダプタを使用してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。
- 事故発生時は録画データが上書きされないように microSD カードを保管してください。

- 液晶パネルの表示部を強く押したり、先の尖ったもので扱わないでください。
- サングラス等を通して液晶パネルを見ると偏光特性により表示が見えなくなることがあります。
- 周囲の温度が高くなると液晶パネルの表示部が黒くなる場合がありますが、ディスプレイの特性であり、故障ではありません。
- 液晶パネルは精密度の高い技術で製造されており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があることをご了承ください。
- microSD カードの挿抜時は本体に電源供給がされていないことを確認してください。
- microSD カードは必ず DrivePro でフォーマットしてください。
- ワイドアングルレンズを使用しているため、映像にゆがみや影が生じることがあります。これはレンズの特性によるもので故障ではありません。
- GPS システムは DrivePro の動作や正確性に影響を与える場合があります。GPS 情報は実際とは異なる場合があります、トランセンドは GPS データの正確性を保証しません。走行中の判断の参照にはしないでください。
- GPS 信号はビルやメタルコートフィルム遮断されることがあります。GPS データの精度は天候や利用場所などにより変化します。(例: 高層ビル、トンネル、地下、森の中など)
- Wi-Fi 接続は DrivePro が電源に接続されている場合のみ利用できます。

■ 取付け位置

- DrivePro はドライバの視界を遮ったり、エアバッグの作動を妨害しない位置に取り付けてください。また、脱落/落下による怪我や事故等を防ぐためにしっかりと取り付け、カーアダプタも確実に接続してください。
- 悪天候時にも鮮明な映像が撮影できるように、DrivePro はフロントガラスのワイパー可動域に取り付けてください。
- 接触不良による火災を防ぐためにシガーソケットやカーアダプタの汚れはよく拭いてください。
- コードを傷つけないよう、無理に曲げたりしないでください。また、カーアダプタを抜くときはコードを引っ張らないようにしてください。
- テレビアンテナの近くで使用すると受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。



注意: 着色フィルムにダメージを与える恐れがありますので、着色ガラスの窓やフィルムが貼られている窓に DrivePro を取り付けないでください。

■ データのバックアップ

- トランセンドはデータの損失や損傷には一切の責任を負いません。
定期的にコンピュータやストレージメディアに DrivePro のバックアップをとることをお勧めします。
- 高速データ転送を利用するには、コンピュータの USB ドライバが Hi-Speed USB 2.0 仕様に対応している必要があります。USB ドライバの情報についてはご使用のコンピュータ、またはマザーボードのマニュアルを参照ください。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長時間使用によ

る不良セクタの発生等が原因で正常に記録できなかったり、カードエラーで使用できなくなることがあります。

- microSD カードの消耗に起因する故障等について弊社は一切の責任を負いません。
- カードリーダーは使用する microSD カードに対応したものを使用してください。

12. トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。ハードウェアに関する事は DrivePro ユーザーマニュアルを参照ください。

■ OSがDriveProを認識しません

以下の項目をチェックしてください。

1. DriveProが正しくUSBポートに接続されていますか。接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. DriveProがMacキーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外してMacデスクトップのUSBポートに接続してください。
3. そのUSBポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。

■ DrivePro をボタン操作できません

DrivePro からカーアダプタを外し、再度接続してください。

■ DriveProがメモリカードの録画ファイルを読み出せません

編集等した動画は DrivePro で再生できない場合があります。

■ 緊急録画ボタンを押しても何も起こりません

緊急録画ができるのは DrivePro が録画中のときだけです。

13. 仕様

パネル:	2.4 インチのカラー液晶
接続インターフェース:	USB 2.0
ストレージ容量:	microSD カード(MLC NAND フラッシュ推奨) 8GB / 16GB / 32GB / 64GB / 128GB, Class 10 以上
サイズ:	96.2 mm (L) × 64.5mm (W)× 43.9 mm (H)
重量:	107g
バッテリー:	リチウムポリマー
電源供給:	入力: DC 12V~28V 出力: DC 4.6~5.25V 2A
動作環境温度:	-20°C ~ 65°C
動画フォーマット:	H.264 (MP4: 最大 1920x1080P 30fps)
レンズ:	フロント: F/2.2、160°ワイドアングル リア: F/2.8、110°
解像度 / フレームレート (最大)	フロント: 1920 x 1080P (30fps) リア: 1280 x 720P (30fps)
衛星システム:	GPS/Glonass
Wi-Fi	802.11b/g/n
認証:	CE、FCC、BSMI、NCC、MIC
保証:	2年
注記	頻繁に運転される方はMLC NANDフラッシュを採用している耐久性に優れたトランセンドの高耐久microSDカードをご利用ください。 16GB-64GB 高耐久microSDHCカード (TS16GUSDHC10V/TS32GUSDHC10V/ TS64GUSDXC10V) 64GB/128GB 高耐久 microSDXC 350Vカード (TS64GUSD350V/TS128GUSD350V)

14. リサイクルと環境への配慮



製品のリサイクル(WEEE): 本製品はリサイクルまたは再使用が可能な高品質の部材を使用して設計および製造されています。車輪付きゴミ箱にバツ印の入ったマークは WEEE 指令対象製品であることを示しています。

電気・電子機器を廃棄する際には、販売店による引取りなど、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、古くなった製品は適切な方法で廃棄するようにしてください。



バッテリーの廃棄: このマークは EU 新電池指令(2006/66/EC)に該当する充電式バッテリーを内蔵している製品に表示されており、適切な方法で廃棄する必要があります。

バッテリーを廃棄する際には、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、バッテリーは適切な方法で廃棄するようにしてください。

取替え不可なバッテリーが内蔵されている製品についてはバッテリーを取り外す(または取り外そうとする)と保証が無効となります。製品を廃棄する際に取り外して適切に廃棄してください。

警告

不適切なバッテリーとの交換は爆発の危険性を伴います。

使い古したバッテリーは指示に従って廃棄してください。

15. Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This Equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Statement:

This equipment complies with FCC RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator and your body.

You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the part responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Radiation Exposure Statement:

This Transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

16. 保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っています。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの DrivePro が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの Drive Pro の保証は、購入日から 2 年間有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの Drive Pro は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任を負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。

おねがい

- ・ 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。弊社より返送時は弊社負担ですがご送付いただく際は送料をご負担ください。
- ・ 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- ・ 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。



Transcend Information, Inc.

www.transcend-info.com

*Transcend ロゴは Transcend Information, Inc.の登録商標です。

*ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

*すべてのロゴとマークは各社の商標です。

17. GNU General Public License (GPL) Disclosure

Firmware incorporated into this product and/or software used for this product may include third party copyrighted software licensed under the GPL (hereinafter referred to as "GPL Software"). In accordance with the GPL, if applicable: 1) the source code for the GPL Software may be downloaded at no charge or obtained on CD for a nominal charge by calling Customer Support within three years of the date of purchase; 2) you may copy, re-distribute and/or modify the GPL Software under the terms of the GNU General Public License as below or any later version, which may be obtained at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>; 3) the GPL Software is distributed WITHOUT ANY WARRANTY, without even implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. The entire risk as to the quality and performance of the GPL Software is with you. Transcend does not provide any support for the GPL software.

18. End-User License Agreement (EULA)

Software license terms and conditions

1. **Generally.** Transcend Information, Inc. ("Transcend") is willing to grant the following license to install or use the software and/or firmware ("Licensed Software") pursuant to this End-User License Agreement ("Agreement"), whether provided separately or associated with a Transcend product ("Product"), to the original purchaser of the Product upon or with which the Licensed Software was installed or associated as of the time of purchase ("Customer") only if Customer accepts all of the terms and conditions of this Agreement. PLEASE READ THESE TERMS CAREFULLY. USING THE SOFTWARE WILL CONSTITUTE CUSTOMER'S ACCEPTANCE OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT, DO NOT INSTALL OR USE THE LICENSED SOFTWARE.

2. **License Grant.** Transcend grants to Customer a personal, non-exclusive, non-transferable, non-distributable, non-assignable, non-sublicensable license to install and use the Licensed Software on the Product in accordance with the terms and conditions of this Agreement.

3. **Intellectual Property Rights.** As between Transcend and Customer, the copyright and all other intellectual property rights in the Licensed Software are the property of Transcend or its supplier(s) or licensor(s). Any rights not expressly granted in this License are reserved to Transcend.

4. **License Limitations.** Customer may not, and may not authorize or permit any third party to: (a) use the Licensed Software for any purpose other than in connection with the Product or in a manner inconsistent with the design or documentations of the Licensed Software; (b) license, distribute, lease, rent, lend, transfer, assign or otherwise dispose of the Licensed Software or use the Licensed Software in any commercial hosted or service bureau environment; (c) reverse engineer, decompile, disassemble or attempt to discover the source code for or any trade secrets related to the Licensed Software, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation; (d) adapt, modify, alter, translate or create any derivative works of the Licensed Software; (e) remove, alter or obscure any copyright notice or other proprietary rights notice on the Licensed Software or Product; or (f) circumvent or attempt to circumvent any methods employed by Transcend to control access to the components, features or functions of the Product or Licensed Software.

5. Copying. Customer may not copy the Licensed Software except that one copy of any separate software component of the Licensed Software may be made to the extent that such copying is necessary for Customer's own backup purposes.

6. Open Source. The Licensed Software may contain open source components licensed to Transcend pursuant to the license terms specified as below,

- (a) GNU General Public License (GPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> ;
- (b) GNU Lesser General Public License (LGPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html> ; and/or
- (c) Code Project Open License (CPOL), the terms of which is currently available at <http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>

The above license terms will control solely with respect to the open source components. In the event that this Agreement conflicts with the requirements of the above one or more terms with respect to the use of the corresponding open source components, Customer agrees to be bound by such one or more license terms.

7. Disclaimer. TRANSCEND MAKES NO WARRANTY AND REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY, RELIABILITY, AVAILABILITY, TIMELINESS, LACK OF VIRUSES OR OTHER HARMFUL COMPONENTS AND ACCURACY OF THE INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS CONTAINED WITHIN THE LICENSED SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. ALL SUCH INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS ARE PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. TRANSCEND HEREBY DISCLAIMS ALL WARRANTIES AND CONDITIONS WITH REGARD TO THIS INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WORKMANLIKE EFFORT, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL TRANSCEND BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, PUNITIVE, INCIDENTAL, SPECIAL, CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, ARISING OUT OF OR IN ANY WAY CONNECTION WITH THE USE, PERFORMANCE OR ACCURACY OF THE LICENSED SOFTWARE OR WITH THE DELAY OR INABILITY TO USE THE LICENSED SOFTWARE, OR THE PRODUCT WITH WHICH THE LICENSED SOFTWARE IS ASSOCIATED, WHETHER BASED ON CONTRACT, TORT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF TRANSCEND HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

8. Limitation of Liability. IN ANY CASE, TRANSCEND 'S LIABILITY ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS AGREEMENT WILL BE LIMITED TO THE TOTAL AMOUNT ACTUALLY AND ORIGINALLY PAID AT RETAIL BY CUSTOMER FOR THE PRODUCT. The foregoing Disclaimer and Limitation of Liability will apply to the maximum extent permitted by applicable law. Some jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the exclusions and limitations set forth above may not apply.

9. Termination. Transcend may, in addition to any other remedies available to Transcend, terminate this Agreement immediately if Customer breaches any of its obligations under this Agreement.

10. Miscellaneous. (a) This Agreement constitutes the entire agreement between Transcend and Customer concerning the subject matter hereof, and it may only be modified by a written amendment signed by an authorized executive of Transcend. (b) Except to the extent applicable law, if any, provides otherwise, this Agreement will be governed by the law of the Republic of China, excluding its conflict of law provisions. (c) If any part of this Agreement is held invalid or unenforceable, and the remaining portions will remain in full force and effect. (d) A waiver by either party of any term or condition of this Agreement or any breach thereof, in any one instance, will not waive such term or condition or any subsequent breach thereof. (e) Transcend may assign its rights under this Agreement without condition. (f) This Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties, their successors and permitted assigns.